

# 生き抜く力をはぐくむ

## 変化する社会の中で



はじめに池部英明県P連会長は「定期総会が昨年に引き続き感染拡大防止対策を講じて各郡市等P連の代議員出席のもと無事に開催できたことに感謝したい。感染症に対する危

機感が社会全体に広がるなか、PTAは「新しい生活様式」に基づく安全対策を講じて活動を続けている。県P連では、このような時であるからこそ、これまで培った経験と知識を結集し、持続可能なつめられる活動を進めている。これからは大分県全体の

### 歩みを止めない

大分県PTA連合会  
令和3年度  
第73回 定期総会

令和3年度大分県PTA連合会定期総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じて、県下16郡市等P連の代議員39名(委任状61名)と被表彰者17名等、約60名が出席して、県教育会館で6月4日(金)に開催された。子育ての原点を意識した家庭教育の実践を中核に、教育関係諸団体と連携し、子どもたちの健全育成をめざし会員の総力を結集することを宣言した。

## 大分県PTA



はぐく美

発行所  
大分市大字下郡496-38  
大分県教育会館2F  
大分県PTA連合会  
☎(097)556-9055  
責任者  
山田 弘樹  
印刷所  
大分市下郡3154の22  
九州凸版印刷株式会社



2-3  
広報紙コンクール  
受賞PTA一覧



3  
県P連幹部研修会



### 大分県PTA連合会 新会長 あいさつ



大分県P連会長  
山田 弘樹

先6月4日に行われました第73回令和3年度大分県PTA連合会定期総会においてご承認をいただき、この度第21代として本会の会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずと、家庭では今年27歳になる長女を筆頭とする4人娘の父親で、妻と二人三脚で楽しんで行動し、よりよい人生を切り拓いていく「力」が求められている。県P連はこれからの子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。

### 子どもたちの未来のために

子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。



被表彰者の皆さん

### 変化の中で

続いて、PTA活動に貢献した大分市立明野中学校PTAほか3団体と、鄭加代県P連副会長をはじめとする個人16名に表彰状、1名に感謝状が贈られた。議事に入り、令和2年度会務報告・収支決算報告があり承認された。次に令和3年度基本方針「年間スローガン」活動目標のなかで、どのような状況であっても、どのような困難が降りかかってこようとも決して臆せず「どのようにな試練にも負けない真の家庭と「主な行事」は3面に掲載。

く、たまに悩んでいます。PTAは子育てを学び実践する場です。我々大人が歩む足跡を止めてしまえば子どもたちの成長にも影響がでてしまいます。今できる活動を考えて、無理をせず、少しずつでも活動をして欲しいと考えます。

大分県PTA連合会より本年配布いたしました「こどもたちの未来のために」(PTAのすゝめ)も活用していただき、子どもたちの健全な成長と皆様のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

### 略歴

- 平成26年～ 宇佐市立長洲小学校PTA副会長
- 28年～ 宇佐市立長洲小学校PTA会長
- 30年～ 宇佐市PTA連合会理事
- 令和2年～ 宇佐市PTA連合会会長
- 令和2年～ 大分県PTA連合会理事

「このままの生活を続けていけば、子どもたちが駄目になる」と考えての行動であったのだと。成人の日に暗れを作った。成人の日の写真だけは何となくと語るAさんの姿に、母と子の絆の復活を確信した。私たちが自分だけで処理できない(解決できない)問題に直面したとき、「どうにかする」と問題を回避しがちである。それでは解決の糸口はつかめない。重い荷物を一人で抱え込むのは止めて誰かに相談してみることだ。一方相談を受ける側は、自分の考えを押しつけるのではなく、相手に寄り添うことが大切。相手に共感しながら共に解決の糸口を見つけていくことだ。「こうしなさい」は禁句である。悩みを分かち合いながら本人の意志を尊重することで前向きに進める。「やっとな食卓が戻って来ました」嬉しそうに語るAさんの声は今も耳に残っている。



十八年間、その暮らしを何とかしようとしたいながらも、その糸口を見つけたことさえ諦めかけていた二人の子どもを持つAさん。そのAさんを動かしたのは市報のページであった。相談を始めて四か月が経過し、年の瀬も迫った。或る日、パートが終わったから来室したAさんの第一声は「二人の子どもたちに鏡餅を買って来ました。子どもたちの机に飾ってあげようと思って...」クリスマスも、誕生日さえも祝うことのなかった母親のそのひと言に私は胸がいっぱいになった。途絶えていた家族の絆が、かすかにつながり始めた瞬間である。全てを諦めかけていたAさんの思いを変えたのは、子どもたちへの思いであった。「このままの生活を続けていけば、子どもたちが駄目になる」と考えての行動であったのだと。成人の日に暗れを作った。成人の日の写真だけは何となくと語るAさんの姿に、母と子の絆の復活を確信した。私たちが自分だけで処理できない(解決できない)問題に直面したとき、「どうにかする」と問題を回避しがちである。それでは解決の糸口はつかめない。重い荷物を一人で抱え込むのは止めて誰かに相談してみることだ。一方相談を受ける側は、自分の考えを押しつけるのではなく、相手に寄り添うことが大切。相手に共感しながら共に解決の糸口を見つけていくことだ。「こうしなさい」は禁句である。悩みを分かち合いながら本人の意志を尊重することで前向きに進める。「やっとな食卓が戻って来ました」嬉しそうに語るAさんの声は今も耳に残っている。

# 大分大学教育学部附属中学校PTA『あおがき』

# 県知事賞受賞

第44回大分県PTA広報紙コンクールの表彰式は4月22日(木)に感染予防対策が十分に講じられた中、県教育会館で開催された。県内の小・中学校PTA・育友会から、88点の応募があり、30点が受賞した。

表彰式では来賓・受賞校の代表者約40名が出席する中、池部英明県PTA連合会長が「昨年は、感染予防対策のため表彰式を中止した。コロナ禍で広報活動に制約がある中、本コンクールに応募された単位PTAの皆様には感謝申し上げます。PTA広報紙は、PTA活動の趣旨、意義を会員や地域の方々に発信する重要なツールである。紙面を通して家庭と家庭、家庭と学校、そして地域を結びつける重要な役割を担うことで、各単位PTAの活動がさらに充実、発展していく力になり続けては

来賓の紹介の後、応募の広報紙について、審査員2名が、それぞれ講評を行った。矢野修審査委員は「いずれも非常に優れていて素晴らしい内容だった。これは、会員の皆様を中心とした各学校の力だと思ふ。また、PTAの活動を子どもたちの様子などを通じて伝えていくという共通理解の中で、広報紙作成に携わった方々の工夫やアイデアが各所にこめられていた。最近では、SNSの発達でネットから簡単に情報を得られる。デジタル時代の今だからこそ、紙を手にとり読むことは、温かみを感じ、大事だと思ふ。これからも、思わず手にとって読んでみたいくなるような紙面づくりをお願いしたい」と期待を寄せ評した。

最後に、岩尾淳一審査委員長が優秀広報紙縮刷版の審査評価を交え講評。「審査をする中で目を引く広報紙は、読み手を惹きつける魅力がある。惹きつける手法として写真・文章・見出し・紙面の使い方を工夫することが作り手の楽しみである。また、印刷された新聞を手にした時に、何度か読み返し、自分の頭の中で文章を書く作業を繰り返すことが、読み手を惹きつける広報紙づくりにつながるのではないかな。応募された広報紙の記事は、様々な深い問題を背景にしながら書かれた言葉だった。記事づくりは人づくりと考え、今後も、部員相互で協力して取り組んでほしい」と広報活動の本質を述べた。

私たちがPTAと出会ったのは、平成15年、長女が小3のときです。初めて参加したPTAで、なかなか決まらない学年長の役を推薦されて引き受けたのが始まりでした。何も分からずに参加して、何をしたいか苦慮しました。私たちの学校は当時、中津市で一番新しく、地域のお祭りや地域住民との交流の催しが特にありませんでした。そのため学校主催の「沖小まつり」では、PTAが一丸となり、模擬店や発表会など多彩な催しを地域の方々と楽しみました。お祭り終了後、PTA役員とお疲れ様会でいろいろな話をすることは、親睦を深める非常に有意義な時間でした。そんなPTAとの出会いから1年が経ちPTA会長に推薦されたことが、PTAと長く付き合うきっかけとなりました。今では長女は結婚して2人の子供も(私にとって孫)を授かり、長男も関東で立派に社会人として働いています。次女は高校1年生となり洋服選びの好みも通じるものがあり、買い物も一緒に行っていきます。次男は中1となり小学生の頃から一緒に頑張っているソフトテニスも共通の話題です。まだまだ子育ての途中ですが、今までPTAに参加することで、子どもたちはますます成長してくれています。親として子どもの健全な成長を望まない親はいないと思います。何よりも自分の人生が豊かになる一因だと私は信じています。

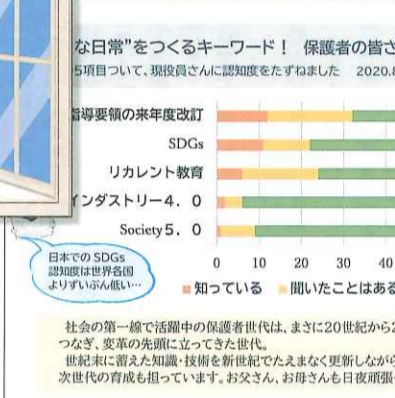


### 扉をひらく 飛躍知に注目!

そのカギは?

皆さんは「飛躍知」の言葉から何をイメージするでしょうか? 世の中がどんなに進化しても、新たな社会をつくるのはいつまでも「ひと」であり、私たちの「学び、知性」によってであることを、この「飛躍知」という言葉に読み取る事ができるのではないのでしょうか?

皆さんは「飛躍知」の言葉から何をイメージするのでしょうか? 世の中がどんなに進化しても、新たな社会をつくるのはいつまでも「ひと」であり、私たちの「学び、知性」によってであることを、この「飛躍知」という言葉に読み取る事ができるのではないのでしょうか?



審査員

岩尾 淳一 (委員長)	大分県PTA連合会「はぐく美」顧問
佐々木 稔	大分合同新聞社 執行役員編集局副局長
矢野 修	大分県教育庁社会教育課主任 社会教育主事兼課長補佐(総括)
池部 英明	大分県PTA連合会会長

(敬称略)



審査基準

- ① 読みやすく、わかりやすく、すっきり
- ② 年間のシリーズ物、企画物があるか
- ③ 広報紙の特色 (運動会等の扱い)
- ④ 写真のバリエーション、トリミング
- ⑤ 地域の特色が出ているか
- ⑥ レイアウト、見出し、カットの整理力
- ⑦ 誤字・脱字がないか

尚、入賞紙のうち10紙が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。

お知らせ

☆第44回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版

1冊700円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PTA連事務局長までお申し込みください。県内の各小・中・特別支援学校には、郡市PTA連を通して1冊贈呈しました。大分県PTA連合会事務局 ☎(097) 556-9055

人生の糧 SmiSie隊

人生の糧は、私たちがPTAと出会ったのは、平成15年、長女が小3のときです。初めて参加したPTAで、なかなか決まらない学年長の役を推薦されて引き受けたのが始まりでした。何も分からずに参加して、何をしたいか苦慮しました。私たちの学校は当時、中津市で一番新しく、地域のお祭りや地域住民との交流の催しが特にありませんでした。そのため学校主催の「沖小まつり」では、PTAが一丸となり、模擬店や発表会など多彩な催しを地域の方々と楽しみました。お祭り終了後、PTA役員とお疲れ様会でいろいろな話をすることは、親睦を深める非常に有意義な時間でした。そんなPTAとの出会いから1年が経ちPTA会長に推薦されたことが、PTAと長く付き合うきっかけとなりました。今では長女は結婚して2人の子供も(私にとって孫)を授かり、長男も関東で立派に社会人として働いています。次女は高校1年生となり洋服選びの好みも通じるものがあり、買い物も一緒に行っていきます。次男は中1となり小学生の頃から一緒に頑張っているソフトテニスも共通の話題です。まだまだ子育ての途中ですが、今までPTAに参加することで、子どもたちはますます成長してくれています。親として子どもの健全な成長を望まない親はいないと思います。何よりも自分の人生が豊かになる一因だと私は信じています。

中津市PTA連合会 会長 御幡 雅章



文教警察委員会参考人として県P連の現状を伝えた

### 子どもたちの安全・安心を守るために

大分県議会文教警察委員会が5月26日(水)に、大分県議会第2委員会室で開催された。新型コロナウイルス感染症の影響について調査中の文教警察委員会が、コロナ禍における子どもたちや学校の現状を情報共有する目的で、PTA関係者を参考人として初めて招致した。県PTA連合会から池部英明会長、県高等学校PTA連合会から和田俊二会長、県議会議員と関係者が出席した。

はじめに、和田県高P連会長が学校における児童、生徒の感染防止に係る諸問題等に対して県高P連加盟校の保護者から寄せられた声を報告した。

続いて池部県P連会長は、子どもたちの学習サポートや学校における子どもの感染防止対策について「今後も考えら

交換を行い内容を深めた。事実を見て記述することを常に意識し、編集作業を通してPTAとしての役割を問いつつ機会になった。熱のこもった広報紙で読みごたえがあったと会員の好意的な反応を得られた」と語った。

県P連会長賞受賞の別府市立青山中学校P新名量子会長は「昨年度当初は、保護者の集う機会がなかった為、各クラスから広報部員を選出できなかった。1学期は常任が紙面を作成し、2、3学期は、保護者に協力を呼びかけた。有志が集まった部員は、自身が楽しみ、協力して活動に取り組んだ。広報紙は学校の歴史であり、記録を残すことが重要と考え、コロナ禍における子どもたちや学校の状況と共に生徒、保護者、先生の声を取り入れた」と振り返った。

式後は、晴れやかな笑顔で記念撮影を行う姿が見られた。

## 88点の力作揃う

続いて、入賞に近づくよりよい紙面作りのための編集作業についてアドバイスをした。

▼自校のPTA活動の特色を踏まえた広報紙発行に努める。

▼機動的な発行態勢を整える。

▼広報部員の連携強化に努め、効率的な発行を図る。

▼地域に広がるPTA活動と広報紙の機能。

▼広報部員の研修。

協力的な変化に対応

県知事賞受賞の大分大学教育学部附属中学校P平井優美子広報委員長は「感染症予防対策を第一に考え、委員で集う活動を控えた。ネットを通じて委員同士が意見を交わした内容を記事にして委員へ配布。それを基に、さらに意見

### 第44回 大分県PTA広報紙コンクール入賞PTA

<b>県知事賞</b> 「あおがき」 大分大学教育学部附属中P(大分市)	<b>県中学校長会長賞</b> 「はくさん」 坂ノ市中P(大分市)
<b>県PTA連合会長賞</b> 「あおやま」 「ほうふ」 「明丘新報」 「上野ヶ丘」 「雨龍」	<b>大分合同新聞社賞</b> 「いよのが丘」 「浜ちどり」 「大野川」
<b>県議会議長賞</b> 「たじり」	<b>OBS賞</b> 「やまびこ」
<b>県教育長賞</b> 「はるき川」 「植田南」	<b>TOSテレビ大分賞</b> 「せんだん」
<b>県小学校長会長賞</b> 「大明」	<b>OAB賞</b> 「かきの」
	<b>大分ケーブルテレコム賞</b> 「おささが丘」
	<b>審査員特別賞</b> 「くさじ」 「あすなる」

#### 優良賞(順不同)

日岡小愛 (大分市)	津留小P (大分市)	滝尾中P (大分市)	鶴崎中P (大分市)	東陽中P (大分市)
植田西中P (大分市)	大在中P (大分市)	吉野中P (大分市)	佐伯東小育 (佐伯市)	南部中育 (日田市)

Pは「PTA」、愛は「愛育会」、育は「育友会」の略。

### 令和3年度 県P連幹部研修会

県P連幹部研修会が6月15日(火)、県教育会館で開催され、県内16郡市等P連から約40名が出席した。理事会、各専門部会、合同研修会が行われ本年度の活動内容等の意思統一が図られた。

### 活動の活性化につなげる 幹部のすすめ

各専門部の主な協議内容

- ・【教育部会】
  - ・県P連研究大会について
  - ・教育問題懇談会について
  - ・「PTAのすゝめ」「こんにちはPTA」について
- ・【研修部会】
  - ・全単位PTA会長研修会について
  - ・指定研究事業について
  - ・郡市P連指導者研修会について

### 共通認識をもち 連携を深める

本会は、県内16郡市等の県P連理事・事務局長ら幹部が一堂に会し、年に一回開催される。研修会を通して、リーダーとしての意識を高め合い、連帯感を持って活動していくことを目的としている。理事会では、日P・九Pを

### リーダーのすすめ

合同研修会では、冊子「PTA会長研修資料」を用いて仁田野繁昌県P連副会長が講師となり研修を行った。「会長は、組織を牽引する役割を担う。会員である保護者や教職員との意思疎通を図り、意見を尊重することが大切。会長自身

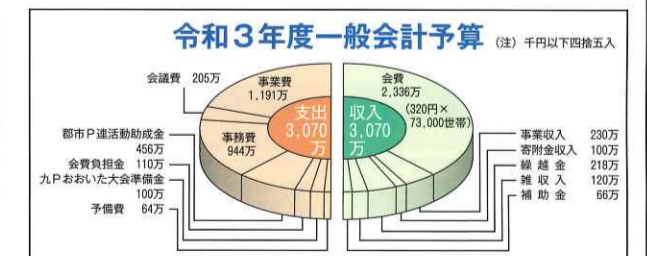


講演に聞き入る各郡市等P連の幹部たち

### 令和3年度 大分県PTA連合会事業等のお知らせ

### 玖珠大会 PR動画

令和3年度の第30回大分県PTA研究大会玖珠大会は、令和4年2月6日(日)に開催予定です。大分県PTA連合会のホームページにPR動画をアップしています。



### 県PTA会費は

一世帯あたり450円で、単位PTAごと一括納入となっています。320円が県P会費。約130円はPTA安全補償制度の保険料で、一般会計の収支に含まれていません。

- #### 令和3年度の主な行事予定

  - ▼第14回県P全単位PTA 会長研修会 7月31日(土)
  - ▼第69回日本PTA 全国研究大会 北九州大会 7月31日(土)
  - ▼第66回九州ブロック研究大会 北九州大会 8月21日(土)
  - ▼教育問題懇談会 10月28日(木)
  - ▼第30回県PTA研究大会 玖珠郡大会 2月6日(日)
  - ▼第45回広報紙 コンクール審査会 2月22日(火)
  - ▼第45回広報紙 コンクール表彰式 3月15日(火)

# 2021年6月1日より大分県で 自転車利用時の保険加入が義務化されました

## 大分県 自転車の安全で 適正な利用の 促進に関する条例

令和3年4月1日施行  
令和3年6月1日自転車保険の加入義務施行



### 義務

自転車保険の加入が義務になりました

#### 加入の対象者

- ・自転車利用者(未成年者を除く)
- ・保護者(未成年者が自転車を利用するとき)
- ・事業者(事業活動で自転車を利用するとき)
- ・自転車貸付事業者

#### 高額損害賠償事例

坂道を自転車で下って来た男子小学生が、歩行中の女性と正面衝突。被害者は意識不明に。

約9,500万円  
(平成25年神戸地裁)



### 責務

交通ルールの遵守

自転車安全利用五則を守りましょう!

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外

2. 車道は左側を通行

3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

4. 安全ルールを守る

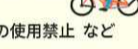
① 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

② 夜間はライトを点灯

③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

④ スマートフォン、携帯電話の使用禁止 など

5. 子どもはヘルメットを着用



### 別義務

自転車利用時の安全上の措置

自転車利用者は、反射材及び交通事故の被害を軽減するための器具の使用に努めましょう!



<通学時のヘルメット着用>

自転車を利用して通学する小学生・中学生・高校生の乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

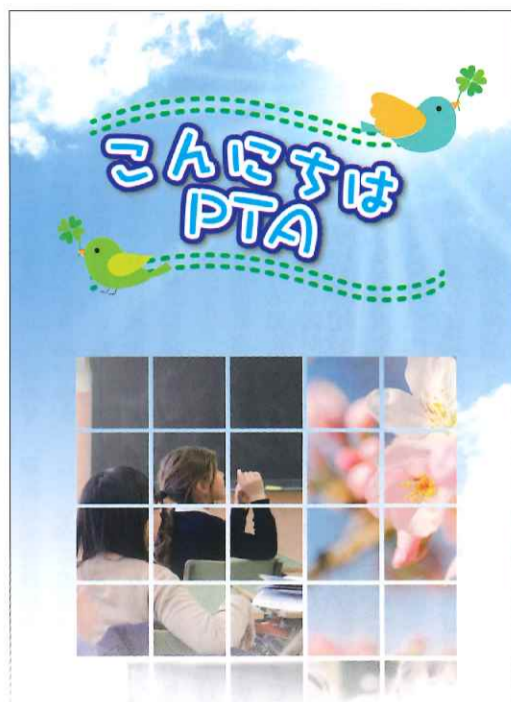
大分県

# リーフレットできました

県P連は今年度、新たな取組として、はじめてPTAに出会う保護者に向けて、PTA活動を身近に、楽しく、積極的に活動していただけるように、「こんにちはPTA」を発刊しました。このリーフレットには、PTAの成り立ちから全国へ広

まった経緯をはじめ、参加することで気がつくこと等を紹介しています。会員がPTAへの理解をより深めてもらうことを目的に作成しました。初年度発刊にあたり全家庭へ配布しました。

一緒に始めてみませんか?



## PTAのすゝめ

一、大人が示そう あいさつの手本

二、子どもと遊び ふれあい 伝える愛情

三、学校とともに深める 信頼の絆

四、地域と見守り はぐくむ郷育

五、みんなでつどい できる事を、できる時に

六、PTA活動を通して 楽しもう 子育て

大分県PTA連合会

## 大分県PTA連合会では、

「大人が・子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て」の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」(令和3年度改め)を推進しています。

## 「PTAのすゝめ」を推進

私たちの願いは、子どもたちが輝く笑顔で学校生活を送ることです。それを具体的に進めるために、県P連では平成21年度に「保護者心得六箇条」を策定。令和3年度からは、大分県らしさを加え「PTAのすゝめ」に変更しました。

今年度から「こんにちはPTA」に掲載しています。

## まだまだ加入受付中です

	8月1日加入	9月1日加入	10月1日加入
募集期間	7月1日~7月26日	8月1日~8月25日	9月1日~9月24日
補償開始	8月1日午後4時	9月1日午後4時	10月1日午後4時
補償終了	令和4年4月1日午後4時		

\*詳細は大分県PTA連合会ホームページをご覧ください

大分県PTA連合会会員の皆さまへ  
令和3年度 大分県PTA連合会  
学生・子ども総合保険

約36%割引適用!

24時間補償対象!

賠償責任補償付き!

2021年3月31日(水) 2021年4月29日(木)

2021年4月1日午後4時~2022年4月1日午後4時までの1年間

大分県PTA連合会加盟の小・中学校、新生東洋小学校小中併設、大分東洋女子小中併設の児童・生徒(入学時学校を移した方を除きます)です。ただし、私立中学校および併設中学校・高等学校に在籍する児童・生徒は加入できません。

大分県PTA連合会

<保険にかかるとお問合せ>  
受付時間: 平日 9:00~17:00

(取扱専任代理店)  
MS九州株式会社 大分支店  
☎ 097-538-8880

(取扱共同募集代理店)  
はぐく美保険サービス株式会社  
大分市大字下 496-38 大分県教育会館2F  
☎ 097-535-7051

<事故にあわれた時のご連絡先>  
24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」  
☎ 0120-258-189

三井住友海上の安心  
GK  
www.ms-ins.com



## おせやさま

ちびっ子が、「はい、おせやさま」と バス降りて、残る乗客 大笑いとなる

(宇都宮市 大門とよ子)

年端もいかないうちの心のひびきと温かいぬくもりの心にひびいたことだろう。笑いを誘い出した。「おせやさま」の心を持ちながらも、素直に出せない大人たちがたくさん居るなかで、はじき出した勇気に共感が広まり、高まった。

人とひとを結びつける言葉は、山ほど、身のまわりに、張りめぐらされている。「良かれ」と思うことでも

素直に、それを口に出して表現することをためらう大人たちだが、子どもには、恐れずに出せることが多い。

未熟な子どもたちが成熟した社会にたくましく生きるための「力」を会得させるための「ぬくもりの心」を社会の中に「かたまるせる」ことが急務の課題であることを改めて痛感させられた。

今、生かされている社会が子どもに生きやすい果に受けとられなければならない。

巣づくりに励む親鳥は一本の小さな木片を求め、羽根を休めることなく、あちこちとそれを求め続け、飛び回る。

安全・安心が、必ずしも保障されているわけではない。

安全・安心な社会をめざしているヒトの社会の中では、「温もり」が行きわたる取り組みが欠かせない。油断していると、ほころびが生まれる。果の一本の小さな木片を守っていくように。

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。

梶谷寿美(編集長)

石井昌子

佐藤健吾(新)

平林 舞(新)

岩尾淳一(はぐく美顧問/チョコッとコーナー担当)

\*はぐく美編集委員を募集しています。詳細は左記事務局までお問い合わせください。

大分県PTA連合会事務局  
(097)556-9055

一面「ラム欄は引き続き「ときめき」です

\*筆者紹介\*

小野 京子  
元大分市立荏隈小学校校長

大分大学教育学部  
附属中学校学校評議員

〇俳人協会会員

〇著書 「ときめき」

「いやしの百句」他

## 編集後記

「いつも美味しいお弁当がありがたう」。空の弁当箱に添えられた言葉が私のやる気スイッチを押す。子どもから教わった家庭教育。(R)

残り少ない子どもの小学校生活。入学当時の天使のような愛らしさは薄れ、最近ではビクビクするような言動も。そう、あれもこれもきっと成長!(I)

▼末娘が通う中学校の校訓は「継続は力なり」。はぐく美編集委員をして不安しかたないがこの言葉を自分に言い聞かせ続けていきたい。(S)

▼激動の一年だった令和2年度が終わった!!と思ったら、はぐく美編集委員をすることに。これも何かのご縁。人生勉強。頑張ろう。(H)